

新型コロナウイルス感染症対策として

外国人向けの相談・支援を考える懇談会を開催しました

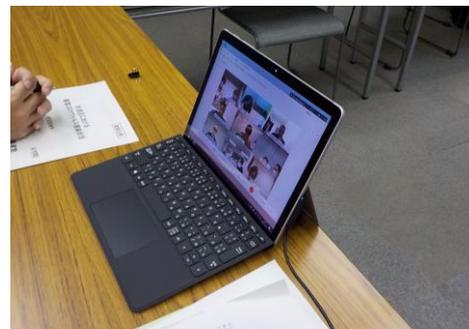
杉並保健所では杉並区交流協会と共催して、11月25日（水）19時から、外国人コミュニティ代表者と新型コロナウイルス感染症の流行状況や感染予防策、医療機関への相談・受診等について意見交換を行い、具体的な相談・支援のあり方を考える懇談会をオンライン会議にて開催しました。

コロナ禍において、杉並区にお住いの外国人の方が、言葉や文化の違いなどから、感染予防策や医療機関への相談・受診等が十分でない状況にあると想定されることから、ネパール、スリランカ、中国、韓国、イランの5カ国のコミュニティ代表者とオンラインによる懇談会を開催しました。

- 日 時：令和2年11月25日（水）19時～20時30分
- 出席者：ネパール代表、スリランカ代表、中国代表、韓国代表、イラン代表、
河北総合病院看護部代表、NPOシェア＝国際保健協力市民の会代表、
保健所職員
- 次 第：新型コロナウイルス感染症の現状（保健所長）
病院のかかり方（河北総合病院）
意見交換・懇談

冒頭、杉並保健所長から杉並区での外国人の感染状況について報告を行った後、河北総合病院の看護師から、病院のかかり方などについてお話しいただきました。その後、外国人出席者から、実施している感染防止策やコミュニティ内での情報伝達の方法、区への要望等についてお話しいただき、質疑・応答に移りました。

参加者からは、言葉の問題を解消するための様々な提案とともに、区からの更なる情報発信に期待する声も多く寄せられました。また、今回、参加して、区や交流協会、病院、NPO団体など外国人を支援する多くの団体があることがわかったとの発言もあり、外国人を対象とした予防策を啓発する良い機会になりました。



【問い合わせ先】

杉並保健所健康推進課：03-3391-1355

総務部広報課：03-3312-2111（代表）